

特別企画：四国地区 食品メーカー主要 20 社 業績動向調査（2018 年度）

2018 年度の業績 売上高合計は過去 5 年で最高

～利益額合計は 2 年連続で減少～

はじめに

食品業界は景気に左右されにくい業界であるものの、人口減少を背景に国内市場の成長余力は限られている。また、少子高齢化や単身世帯の増加、女性の社会進出などで消費者の食行動が変化しており、その変化に合わせた商品開発に注力するほか、大手企業では中国・アジア圏を中心に現地法人や合弁会社を積極的に設立するなど海外展開を加速させている。

今回、帝国データバンク高松支店は、食品メーカーの業績動向を探るため、2019 年 9 月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」（147 万社収録）の中から、2014 年度（2014 年 4 月期～2015 年 3 月期）から 2018 年度（2018 年 4 月期～2019 年 3 月期）まで 5 年間の決算の年売上高と利益額が比較可能な、四国地区に本社が所在する食品メーカー主要 20 社を抽出し、年売上高別、利益額（当期純利益）別、売上高ランキングについて分析した。

※分析対象＝TDB 産業分類で「食料品・飲料製造業」を主業とする企業

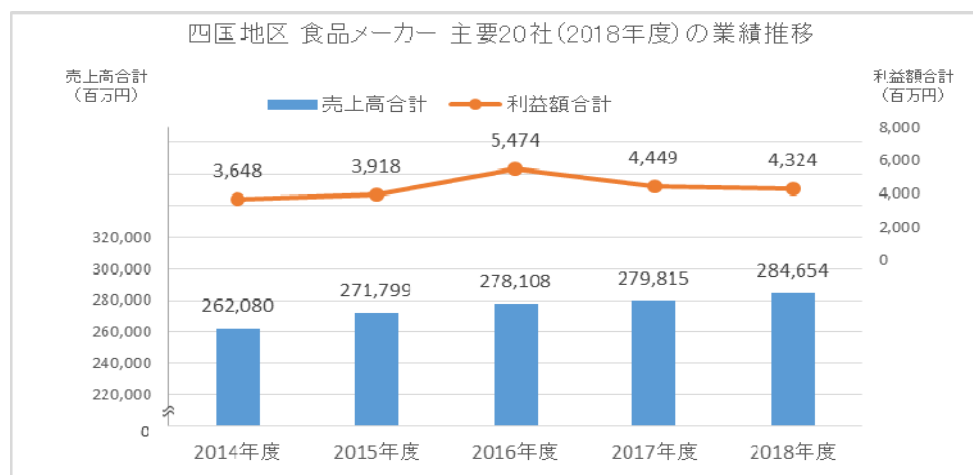
調査結果（要旨）

1. 2018 年度の年売上高合計は 2846 億 5400 万円

前年度と比べて 48 億 3900 万円（1.7%）多く、過去 5 年で最高に

2. 2018 年度の利益額合計は 43 億 2400 万円

前年度と比べて 1 億 2500 万円（2.8%）少なく、2 年連続で減少



1. 年売上高推移、過去 5 年で最高

四国地区に本社が所在する食品メーカー主要 20 社について、2014 年度～2018 年度決算の年売上高合計をみると、2018 年度は 2846 億 5400 万円となり、前年度と比べて 48 億 3900 万円 (1.7%) 多く、過去 5 年で最高となった。

主要 20 社の増減収の内訳をみると、増収の社数は前年度より 2 社多い 13 社となり、減収は 7 社に減少した。2018 年度の売上高の伸び率トップは、無菌米飯パックを製造している (株) フードレック (香川県、19.8%増)。次いで、ハンバーガーパーティを製造しているオレンジベイフーズ (株) (愛媛県、18.1%増)、即席麺や冷凍食品などを製造している加ト吉水産 (株) (香川県、9.0%増)、総菜などを製造しているデリカサラダボーイ (株) (高知県、8.6%増) が続いた。

年度	売上高合計 (百万円)	前年度比 (%)	増減収の社数(前年度比)	
			増収	減収
2014年度	262,080	0.7	14	6
2015年度	271,799	3.7	14	6
2016年度	278,108	2.3	7	13
2017年度	279,815	0.6	11	9
2018年度	284,654	1.7	13	7

2. 利益額推移、2 年連続で減少

2014 年度～2018 年度決算の利益額合計 (当期純利益) をみると、2018 年度は 43 億 2400 万円となり、前年度と比べて 1 億 2500 万円 (2.8%) 少なく、2 年連続で減少した。

主要 20 社の増減益の内訳をみると、増益の社数は前年度より 4 社少ない 9 社となり、減益は 11 社に増加した。生産効率の改善や廃棄ロスの軽減で増益に繋がった企業があったものの、設備投資に伴う減価償却費や物流コストの増加、人員増並びに給与の引き上げによる 労務費負担の高まり などで減益を余儀なくされた企業が散見された。

年度	利益額合計 (百万円)	前年度比 (%)	増減益の社数(前年度比)	
			増益	減益
2014年度	3,648	557.2	14	6
2015年度	3,918	7.4	13	7
2016年度	5,474	39.7	10	10
2017年度	4,449	▲ 18.7	13	7
2018年度	4,324	▲ 2.8	9	11

3.まとめ

今回の調査で、四国地区に本社がある食品メーカー主要 20 社における 2018 年度の売上高合計は、過去 5 年で最高となった。国内消費量が減少傾向にあることや、2019 年 10 月からは消費税率が 10%に引き上げられたことで消費者の節約志向が進むとみられるが、外食が軽減税率の対象外であるため、家庭調理の機会増が加工食品などで需要増となる可能性もあり、海外での日本食人気の高まりも相まって、食品の生産量は安定推移が予想される。

一方で、原材料費や物流コスト、労働力確保に向けた人件費の増加が収益面に影響しており、生産効率の改善が課題となっている。また、消費者による食品の安全に対する関心も高まっており、食品メーカーにおいては新たな商品開発のみならず、品質保証体制の強化も不可避であることから、今後の動向に注目していきたい。

<参考>

四国地区 食品メーカー 主要20社 2018年度売上高ランキング

(単位:百万円)

順位	商号	所在地	年売上高 (2018年度)	前年度比 増減
1	ヤマキ 株式会社	愛媛県	46,050	↑
2	四国明治 株式会社	香川県	30,735	↑
3	株式会社 えひめ飲料	愛媛県	22,478	↓
4	ちぬや冷食 株式会社	香川県	20,044	↓
5	四国乳業 株式会社	愛媛県	18,328	↑
6	株式会社 ビージョイ	愛媛県	16,598	↓
7	株式会社 丸本	徳島県	13,387	↑
8	株式会社 あわしま堂	愛媛県	12,836	↓
9	デリカサラダボーイ 株式会社	高知県	11,769	↑
10	加ト吉水産 株式会社	香川県	10,200	↑
11	四国日清食品 株式会社	香川県	10,038	↑
12	株式会社 大熊	高知県	8,864	↑
13	株式会社 フードレック	香川県	8,776	↑
14	貞光食糧工業 株式会社	徳島県	8,497	↓
15	株式会社 七星食品	香川県	8,407	↑
16	株式会社 丸和	愛媛県	7,833	↓
17	四国物産 株式会社	香川県	7,727	↑
18	有限会社 井上誠耕園	香川県	7,376	↑
19	株式会社 四国シキマパン	愛媛県	7,359	↓
20	オレンジベIFーズ 株式会社	愛媛県	7,352	↑

【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 高松支店 担当：須賀原 欣彦、青木 真人

TEL：087-851-1571 FAX：087-851-3837

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。